

自転車通行帯整備による安全性向上

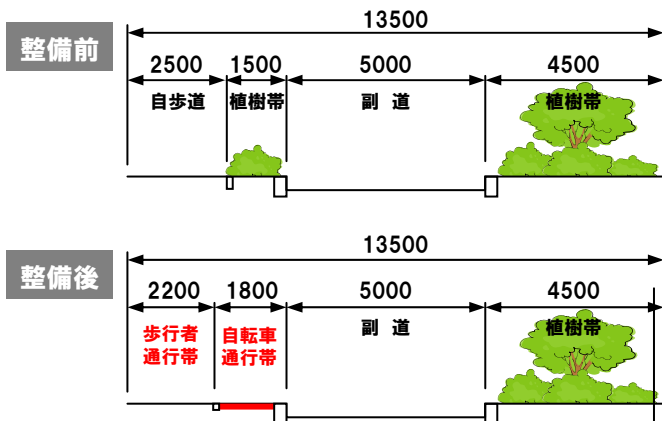
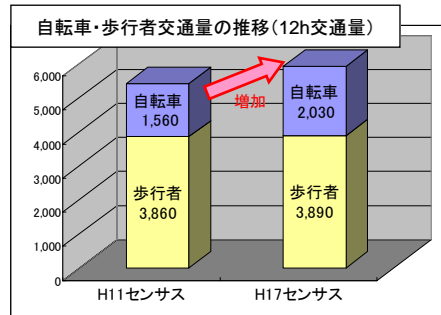


○国道54号広島市西原地区は、新交通の祇園新橋北駅・西原駅や小中学校が隣接しており、又、沿線の市街化が進んだことにより、多くの自転車・歩行者が通行している。特に朝夕のピーク時は、自転車・歩行者が輻輳し、危険な状況であった。【ピーク時自転車交通量：520台/2h、ピーク時歩行者交通量：1,200人/2h ※H20.1調査（平日7:00～9:00）】

○このことから、既設植樹帯（幅1.5m）を撤去して自転車通行帯を整備し、歩行者と自転車の通行を分離。

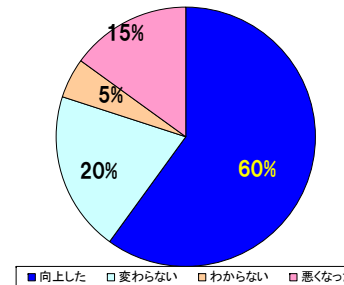
○整備後のアンケート結果によると、沿線住民の約6割、利用者の約8割が安全性が向上したと回答。

○今後は住民及び利用者意見などを踏まえ、更に安全性が向上するように案内・誘導方法等を検討。

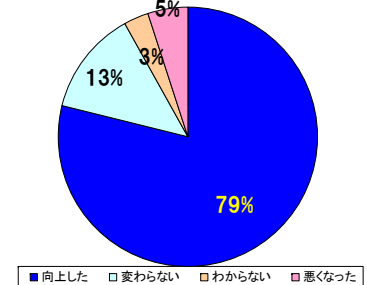


～安全性の向上についてアンケート結果～

沿線住民意見



利用者意見



【主な自由意見】

- 見通しが良くなり、防犯面でも良い。
- 自転車にはねられる心配がなくなった。
- 自転車で走りやすくなった。
- 案内、誘導の充実が必要。

※H21.3広島国道事務所調べによる

今後は住民・利用者意見等を参考にして、案内・誘導方法等を検討。